

は、売上高の推移（2期間の実績と予想）

	機 械部門	化成品部門
<p>フロイント産業</p> <p>フロイント化成は食品品質保持剤の製造部門</p>	<p>医薬品業界に加え、健康食品業界など産業機械分野への取組強化により、受注高・期末受注残高は大幅増加。</p> <p>製薬企業の生き残りをかけたリストラ策の中で、工場再編成にともなう新規設備投資や、既存設備の更新など設備投資姿勢は回復の兆し</p> <p>昨今の受注動向は、活況の様相を示している</p> <p>実績3,366(03.2) 実績3,648(04.2) 予想 4,200(05.2) (単位:百万円)</p>	<p>栄養食品品質保持剤</p> <p>食品品質保持剤の出荷量は増えているものの、価格競争激化により減収</p> <p>シームレスミニカプセルは本格的な生産体制を整え、2003年秋より生産開始。</p> <p>実績1,910(03.2) 実績1,878(04.2) 予想 2,000(05.2) (単位:百万円)</p> <p>治験薬添加剤受託</p> <p>自社生産している医薬品添加剤は大手製薬会社から増産要請が相次ぎ増収基調。</p> <p>V P S 社への治験薬製造受託事業の仲介は、製薬会社の慎重な新薬開発姿勢などのため遅れ気味。</p> <p>実績1,565(03.2) 実績1,744(04.2) 予想1,800(05.2) (単位:百万円)</p>
<p>VECTOR社</p> <p>1997年、持株会社FIL社を通じて買収 最終的な持分比率63.0%</p>	<p>近年、重要な営業戦略として位置付けている新規顧客開拓が実を結びつつあり、業績は堅調推移中</p> <p>2002年に不振部門のCOATING MACHINERY SYSTEMS社（食品向け連続コーティング装置を製造）を売却 子会社整理損約80万ドル（97百万円）を特別損失として計上</p> <p>欧州市場の開拓が今後の経営課題</p> <p>実績18,323(2002) 実績19,160(2003) 予想23,500(2004) (単位:千ドル)</p>	<p>フロイント産業が、自社で生産している医薬品添加剤を使用 本格生産時には、原料を販売</p> <p>予めフロイント産業の浜松研究所にて、製剤研究 研究受託ビジネスとしても事業化</p>
<p>V P S 社</p> <p>VECTOR社の子会社を業態転換し、2001年にSMO()として設立 最終的な持分比率71.6%</p>	<p>VECTOR社の機械装置を設置 本邦での本格生産時には、フロイント産業が生産機を販売</p>	<p>2002年半ばに、長期・大型の治験薬製造を受託し、本格的に事業として立上げ</p> <p>国内製薬会社に加え、現地での新規顧客も開拓し、設備の稼働率を高め、早期に黒字転換を図ることが喫緊の経営課題</p> <p>実績 1,286(2002) 実績 1,841(2003) 予想 3,200(2004) (単位:千ドル)</p>

・ S M O : Site Management Organization (治験施設支援機関)